

南関東地域における水辺環境エコロジカル・ネットワーク
形成による魅力的な地域づくり検討調査報告書・集成版

< 総括編 >

目 次

1. 調査の目的と背景	1
2. 調査の構成	3
3. 調査内容	5
4. 調査成果と課題	7

1. 調査の目的と背景

1-1 調査の目的

本調査は、南関東地域において、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川や農地等における水辺や農地環境の保全・再生方策、コウノトリ・トキの野生復帰をシンボルとした魅力的な地域づくりの地域振興・経済活性化方策を同時に検討し、これらを可能とするエコロジカル・ネットワーク（生態系ネットワーク）の形成に向けた広域連携モデルづくりを目的とする。

1-2 調査の背景

首都圏広域地方計画（平成 21 年 8 月）において、都市化の進行にともなう生態系の喪失に対する解決策として、貴重な水辺空間・緑地空間を保全・再生し、水と緑のネットワークの形成を推進することとしており、同時に環境と経済の調和を図ることにより、首都圏ブロックの地域活性化に資する。

国土交通省河川局及び農林水産省農村振興局では、河川や農地の環境整備事業を実施してきているが、河川と農地の自然をネットワーク化するための関係省庁・地方自治体等との連携が課題となっている。本調査において、県境を越えた広域の関係地方自治体や関係機関等も交えた一体的な検討を実施することにより、施策の具体化が図られる。

(1) 必要性

首都圏では、経済活動の拡大と都市化が進み、大規模開発等により、水辺や緑地などの豊かな自然環境やオープンエリアが失われてきた。その一方で、河川や農地等では、近年各種環境施策の集積が見られ、これらに基づく水と緑のネットワークの形成が一定程度可能な条件下にあり、本調査を実施することで生物多様性の改善効果を得ることができる。

長期目標に挙げるコウノトリ・トキは、飛翔力の大きな中・大型鳥類であり、関東平野部の広域的な水辺や農地環境を視野に入れた計画の立案にあたり、河川や農政の省庁、県境を越えた関係地方自治体、その他の関係機関等も交えた一体的な検討が不可欠である。

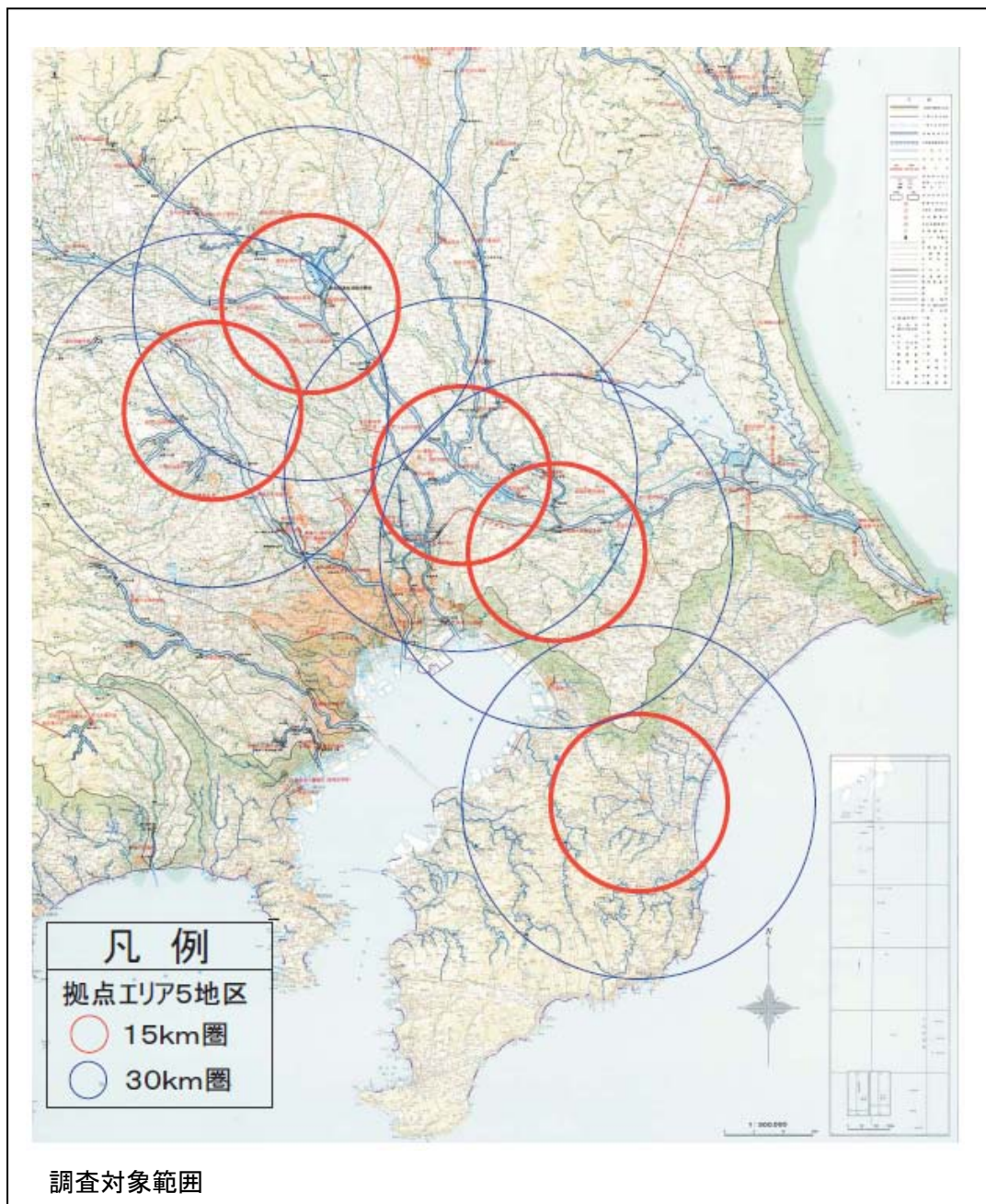
(2) 緊急性

「国土形成計画(全国計画)」(平成 20 年 7 月)において、エコロジカル・ネットワークの形成の他、生物の生息・生育空間の確保や河川と一体となったまちづくりなどの地域活性化の取り組みを支援すると明示した。

「首都圏広域地方計画」（平成 21 年 8 月）において、南関東地域を中心とした平野部では急激に都市的土地利用に転換され、生態系の喪失も進行しており、貴重な自然環境を保全・創出する必要性を明示した。

「ラムサール条約第 10 回締結国会議」（平成 20 年 10 月）において、自然の生物多様性、生態系サービス及び水田の持続可能性を高め、水鳥個体群の保全にも貢献するような計画、農法及び水管理を特定し、積極的に推進することを奨励する決議を我が国が提案し採択された。

2010 年に愛知・名古屋で開催される「生物多様性条約第 10 回締約国会議」（COP10）のホスト国として、2010 年以降の生物多様性改善策の目標を提示する予定である。



2. 調査の構成

2-1 国土交通省関東地方整備局の調査

< 目 的 >

南関東地域において、かつて生息していたコウノトリ・トキを指標とすることで、河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策を検討することを目的とする。

<調査項目>

- 対象エリアにおける河川環境に関する基礎調査
 - ・コウノトリ・トキの生息条件に関する課題の整理
 - ・河川環境の保全・再生施策に関する既往成果の整理
 - ・コウノトリ・トキの生息環境としての現状評価
- 検討委員会の開催（2回）

2-2 農林水産省関東農政局の調査

< 目 的 >

南関東地域において、農業農村整備事業と密接に関わっている水辺の生物、特にコウノトリ・トキを指標として、それらの生息環境に関する情報を収集・整理し、採餌環境条件等を評価・検討することを目的とする。

<調査項目>

- 対象エリアにおける農地環境の基礎調査
 - ・コウノトリ・トキの生息条件に関する課題の整理
 - ・農地環境の保全・再生施策に関する既往成果の整理
 - ・コウノトリ・トキの採餌環境としての現状評価
- 農地におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関する検討（農地での採餌環境向上対策に関する検討）

2-3 千葉県野田市の調査（関東地方整備局より委託）

< 目 的 >

南関東地域において、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策の実施を通じて、将来のコウノトリ・トキの野生復帰に向けた魅力的な地域づくりのための地域振興・経済活性化方策を検討し、エコロジカル・ネットワークの形成に向けた広域連携モデルづくりを検討することを目的とする。

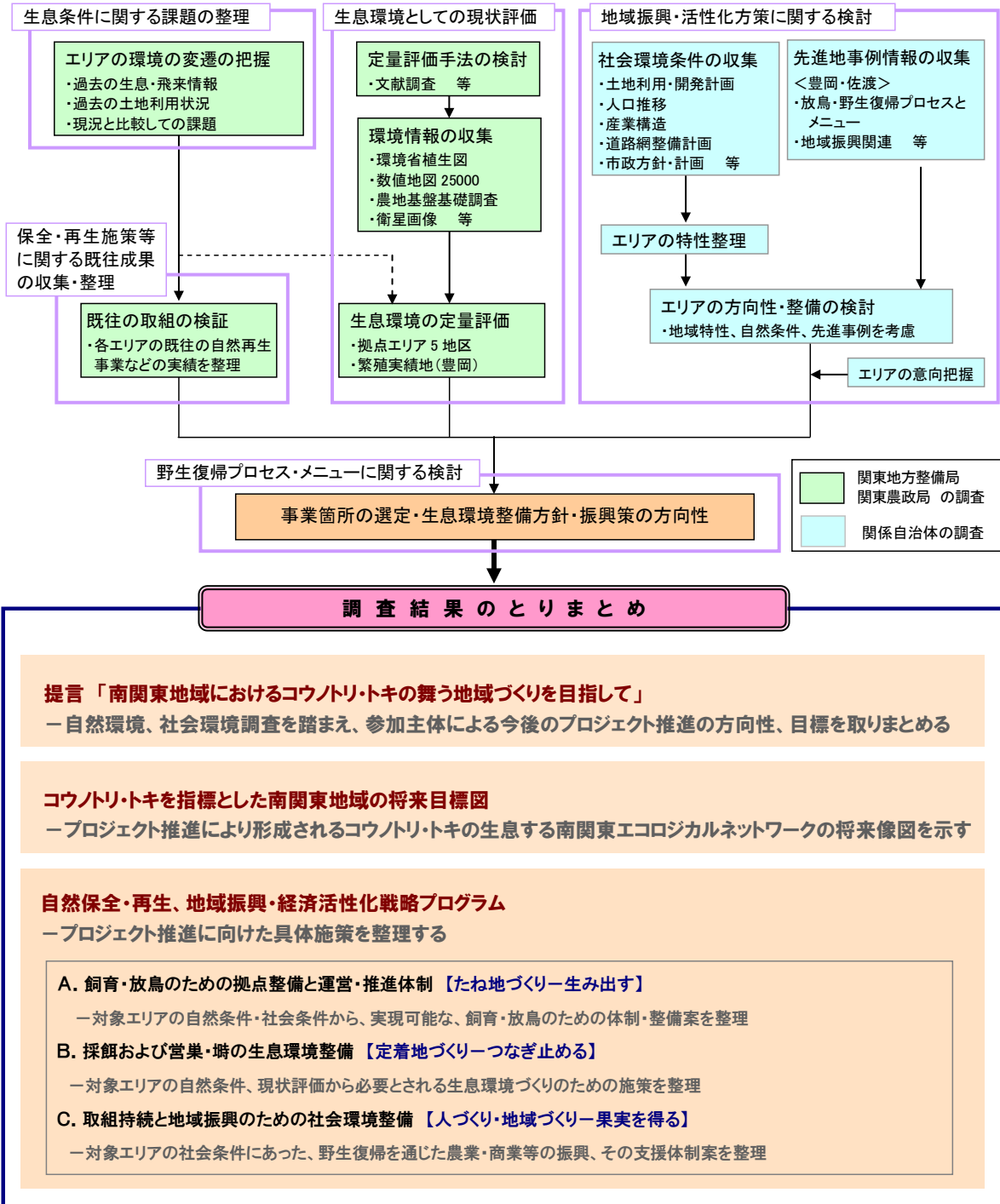
<調査項目>

- 豊岡・佐渡モデル分析による魅力的なまちづくりとしての地域振興・経済活性化方策に関する検討
- コウノトリ・トキ野生復帰プロセス、メニューに関する検討
- コウノトリ・トキの効果的・一体的な野生復帰プロセス・メニューの検討
対象5エリア連携による将来のコウノトリ・トキ野生復帰に向けた施策内容、実施手順、役割分担を検討するとともに、野生復帰実現に必要な基本方針（提言）をとりまとめ、将来目標図として示すと共に、今後の戦略プログラムの提案を行う。
- WGの開催（千葉県WG・荒川流域WG・渡良瀬WGを各1回開催）

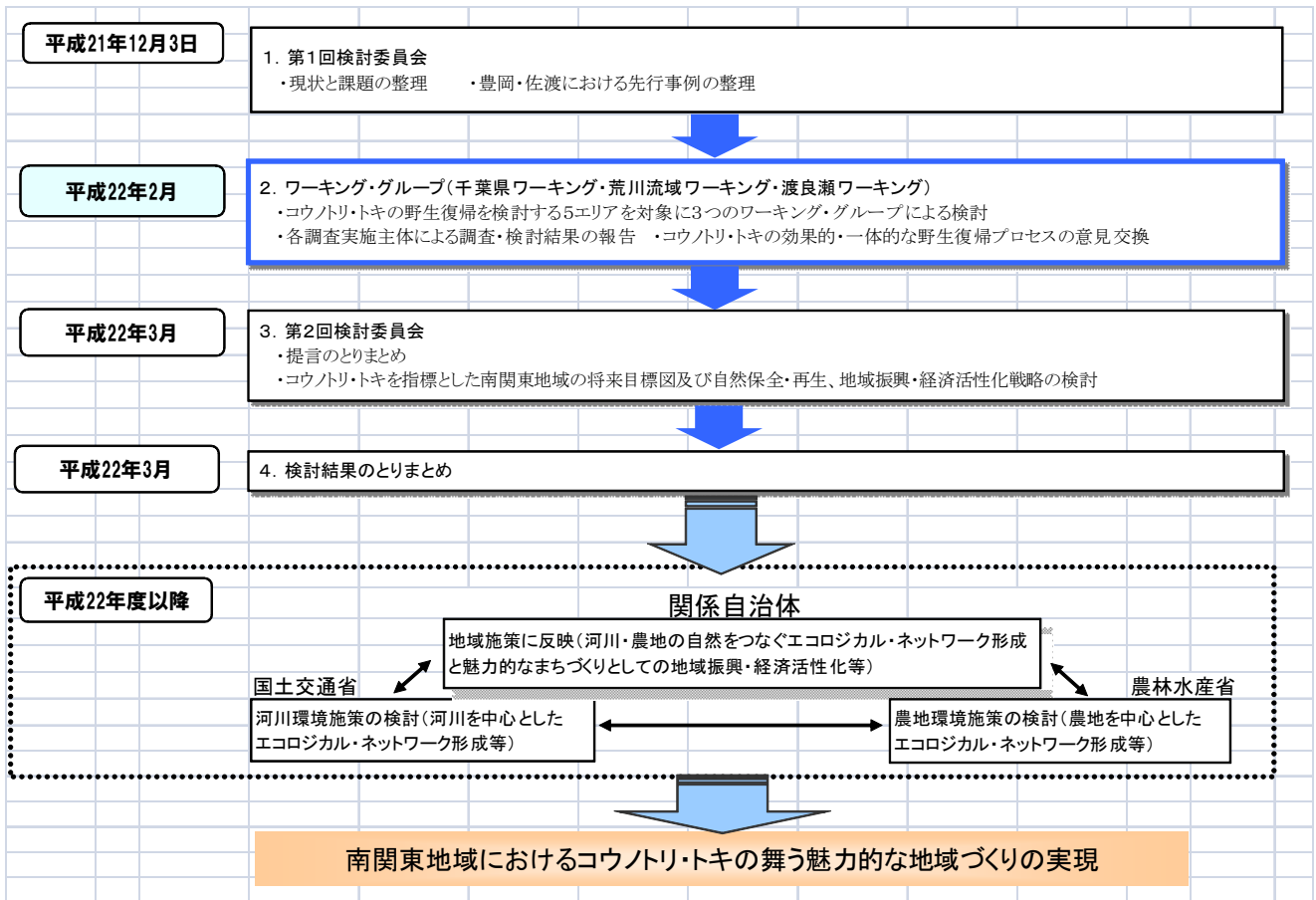
南関東地域における水辺環境エコロジカル・ネットワーク形成による魅力的な地域づくり検討調査					
報告書 ○国土交通省関東地方整備局		報告書 ○農林水産省関東農政局		報告書 ○国土交通省関東地方整備局 千葉県野田市	
調査テーマ ○河川環境の保全・再生施策に関する既往成果の収集・整理 ○河川周辺のエコロジカル・ネットワーク形成に関する検討 等		調査テーマ ○農地環境の保全・再生施策に関する既往成果の収集・整理 ○農地周辺のエコロジカル・ネットワーク形成に関する検討 等		調査テーマ ○コウノトリ・トキ野生復帰プロセス、メニューに関する検討 ○提言・将来目標・戦略プログラムの提案 等	
※検討委員会の開催		※検討委員会・ワーキングに調査の結果を提供		※3つのワーキンググループの開催	
○南関東地域における一体的な自然保全・再生、地域振興・経済活性化の基本構想(集成版報告書)					

3. 調査内容

本調査の主な内容と結果とりまとめまでのフローを以下に示す。



また、調査・検討の実施スケジュールと実施フローを以下に示す。



4. 調査成果と課題

本調査では、コウノトリ・トキを指標とした関東地方整備局による主に河川環境の保全・再生方策に関する調査、関東農政局による主に農地環境の保全・再生方策に関する調査、千葉県野田市によるコウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化に関する調査の結果をとりまとめたものである。

4-1 調査の成果

(1) 提言のとりまとめ

調査を踏まえ、参加主体による今後のプロジェクト推進の方向性、目標を取りまとめた。

- 提言「南関東コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり宣言（仮称）
-南関東地域におけるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して-」
- 南関東地域におけるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり推進の基本方針

(2) 将来目標図の検討

プロジェクト推進により形成されるコウノトリ・トキの生息する南関東地域におけるエコロジカル・ネットワーク形成の将来像図を検討した。



『南関東エコロジカル・ネットワーク形成による コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり』を目指して

Stage.A: 飼育・放鳥の拠点施設整備



南関東地域において、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策の実施を通じて、コウノトリ・トキの野生復帰に向けて魅力的で内発的な地域づくりのための地域振興・経済活性化方策を投影したエコロジカル・ネットワークの形成を目指す広域連携モデルづくりを推進します。

Stage.A: 飼育に係る多様な主体の協働



Stage.B: 環境整備の推進





Stage.B: 遊鳥・環境整備の推進



Stage.C: 地域経済活性化への貢献





Stage.C: 地域振興・環境教育の推進



編成検討委員会・ワーキングに参加した機関・団体等 国土交通省関東地方整備局河川部/農林水産省関東農政局農村計画部/千葉県農土整備部・農林水産部・環境生活部/埼玉県農土整備部・農林部・環境部/栃木県農土整備部・農政部・環境農林部/野田市/流山市/柏市/印西市/我孫子市/白井市/いすみ市/市原市/富岡市/湯島市/北本市/橋本市/君見町/川島町/小山市/藤岡市/野木町/古河市/飯沼町/北川辺町/桐蔭横浜大学・浦井教授/東邦大学・長谷川教授/埼玉大学・浅井教授/東洋大学・松浦教授/群馬大学・清水教授/日本大学・瀧山准教授/応用生態学研究所/環境文化創造研究所/千葉県立中央博物館/兵庫県立コウノトリの郷公園・よこはま動物園/農林工学研究所/日本環を保護する会/利根運河の生態系を守る会/(財)埼玉五県生態系保護推進基金/東京自然と文化研究所/NPO法人グリーン千葉ネットワーク/ちば生物多様性推進委員会/嵐山シンポジウム実行委員会/(社)埼玉県農林公社/湯島の環境を考える会/川島町の自然を守りむむ会/わたらせ未来基金/日本野鳥の会栃木県支部/(財)濃良瀬遊水地アクリメーション振興財団/(財)日本生薬協会

(3) 戦略プログラムの検討

プロジェクト推進に向けた自然保全・再生、地域振興・経済活性化方策の具体施策を検討した。

A. 飼育・放鳥に係る拠点施設整備と多様な主体の協働

【たね地づくりー生み出す】

ー対象エリアの自然条件・社会条件から、実現可能な飼育・放鳥のための体制・整備案を整理

B. 採餌および営巣・時の生息環境整備の推進

【定着地づくりーつなぎ止める】

ー対象エリアの自然条件、現状評価から必要とされる生息環境づくりのための施策を整理

C. 継続的取り組みと地域振興・経済活性化への展開

【人づくり・地域づくりー果実を得る】

ー対象エリアの社会条件にあった野生復帰を通じた農業・商業等の振興、その支援体制案を整理

4-2 今後の課題

本調査の結果を踏まえ、今後の課題を以下に示す。

- 本調査は、南関東地域のコウノトリ・トキの野生個体群を復活させるという壮大な構想の検討であり、個別自治体、単一エリアでの取り組みではどうも解決が困難な課題を多く含んでいる。
- しかし、この挑戦的で戦略的な構想の実現によって、生物多様性が劣化した水辺環境等の保全・再生を通じたエコロジカル・ネットワークの形成が図られ、地域振興・経済活性化の成果が期待されると共に、持続可能な社会づくりに不可欠な生態系サービスの向上に資するものとなる。
- コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを実現するためには、段階的なプロセスと複合的なメニューを実施するために、広域かつ多岐にわたる主体間の連携と協働による取り組みが求められる。
- 一体的・総合的な推進体制が必要となるが、その場合も南関東全体としての連絡調整の場と、各エリアの協働推進の場の2つのフレームの有機的な連携の中で事業化を検討していくことが望まれる。